

# 在宅看護論実習

## 【実習目的】

地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅での看護に必要な基礎的知識、技術、態度を学ぶ。

## 【実習目標】

- 1 地域で生活しながら療養する人々とその家族の健康状態、生活状況が理解できる。
- 2 本人、家族の状況に応じた日常生活援助技術、診療の補助技術の基本が理解できる。
- 3 関係機関、職種との連携や社会資源の活用方法が理解できる。
- 4 療養生活を支援するために他職種と協働する看護師の役割が理解できる。

## 【構成および計画】

授業科目	実習内容	時間	単位（合計時間）
在宅看護論実習	在宅で療養している療養者、家族を対象とした看護	56	2 (90)
	在宅療養を支える施設における看護	24	
	実践活動外学習	10	

### <実践活動外学習の内訳>

項目	目的	内容	時間
フロアーオリエンテーション	実習を円滑に行うために、実習の概要を理解し、実習施設や療養者情報を得る。	実習目的・目標、時間数、評価等、施設の概要、特徴、訪問マナー、実習計画、記録、受持ち療養者の紹介等	2
関係機関、職種との連携や社会資源について確認するための文献検索・カンファレンス	同行訪問した事例を取り巻くサポート体制を理解し、在宅療養の現状と課題について考える。	同行訪問した事例をサポートしている関係機関、職種の確認と、法的根拠について調べ、学生間で共有する。	8
対象の医療安全を守るためのカンファレンス	臨地実習で同行訪問した療養者の危険要因を明らかにし、具体的な安全対策の方法を学ぶ。	事故を未然に防ぎ、患者の安全を守るための看護実践の方法等の検討	